

ロータリーの曙 日本編 3

1935年、ポール・ハリス夫妻が、RI 会長ヒル夫妻と共に日本を訪れました。2月下旬にマニラで開かれる第5回太平洋大会に参加する途中の訪日で、当初は2月6日に横浜に到着する予定でした。1月末に、プレジデント・クーリッジ号に乗船し、日本に向かって航行中である旨、電報による連絡がありましたが、悪天候のため順延して、2月9日午前5時に横浜に到着しました。

横浜市長、鹿島東京 RC 会長他多数の出迎えを受け、横浜のニューグランド・ホテルで小憩の後、10時30分、東京駅に到着しました。到着予定が大幅に狂ったため、当初予定されていたスピーチ等の全ての公式行事は中止となり、二重橋、明治神宮その他の市内観光の後、午後2時、帝国ホテルに到着し、小憩の後、ホテル前庭に月桂樹を植樹しました。

この月桂樹は枯れましたが、その根からでた新芽が、重田 PDG 宅、佐古 PGD 宅などに植えられ、さらに最近岐阜クラブの75周年を記念して株分けされました。

その後、芝公園内の紅葉館で行われた純日本式の昼食会に参加しました。紅葉館での料理は次のように純日本式でした。

御作り身	鮪、平目、胡瓜、山葵
御吸い物	すっぽん、葱、生姜
御蓋物	牛肉煮込、玉葱、隠元豆
御焼肴	鯛、生姜
御間い肴	あい鴨、鰻、百合根
御鉢肴	車海老、青唐辛子
御留椀	若鶏、人参、筍、青豌豆
御飯	米飯、新香
御水菓子	苺

昼食会の後、三越百貨店、御木本真珠を訪問し、夕刻、帝国ホテルに戻って衣装換えの後、午後6時から、東京會館4階で行われた、東京 RC、横浜 RC 主催の歓迎晩餐会に出席しました。

当時の記録によると、この歓迎晩餐会の模様を次のように紹介しています。

食堂は桜咲く隅田川の春景色にしつらい、洋風の窓や戸は日本の提灯で隠し、三囲神社を模した建物まであり、別室では日本古流の茶室で抹茶の接待が行われ、一行は此の接待に充分満足気であった。晩餐会はロータリー・ソング(Rotary my Rotary)で始まり、食事中日本の三曲合奏および声楽家の独唱があり、一方舞台では見事な桜踊りがあった。ポール・ハリスは立って、君が代のオーケストラの演奏の中に天皇陛下のためにトーストを捧げた。

又日本側からは東京 RC の名誉会員前首相齊藤実子爵が米国大統領の健康を祝し、その間米国歌が演奏された。

デザート・コースに入って東京 RC 会長鹿島精一が、又横浜 RC の副会長ソマーラーがそれぞれ会を代表して挨拶し、ついで米山梅吉が歓迎の挨拶を述べた。これに続いて名誉会員徳川公も感想と挨拶を述べ、次にヒル RI 会長の謝辞があり、最後にポール・ハリスが感激にみちた挨拶をした。

歓迎晩餐会終了後、午後 9 時 30 分、東京駅発の夜行列車に乗車し、翌朝 7 時 50 分、京都に到着。京都ホテルで朝食の後、車で京阪国道を通り、新大阪ホテルへ向かい、午後 1 時より開会された、京阪神 3RC 連合の歓迎会に参加しました。

この歓迎会には、京阪神の他、岡山、門司、名古屋、ハルピン等のロータリアン 130 名が参加しました。ロータリー・ソングに始まり、来賓紹介、村田ガバナーの歓迎の辞の後、ヒル RI 会長、ポール・ハリスの答辞がありました。席上、ヒル会長には七宝香炉、ポールにはブロンズの胸像が贈られました。

晩、車で神戸に向かい、プレジデント・クーリッジ号でマニラに向けて出航しました。なお、この便には、太平洋大会に参加する多数の日本人ロータリアンが乗船しました。

1922 年にヨーロッパで最大のロータリークラブ数を擁する、イギリスとアイルランドが RIBI Rotary International British & Ireland を結成したことから、世界各地で、RI の管理から離れて、地域分権を求める気運が高まってきました。日本も、これに倣って、日本、満州、朝鮮で RIJM Rotary International Japan & Manchuria を結成しようとする [ロータリーの日本化] が真剣に論議されるようになりました。

当時、韓国と台湾は日本の統治下にありましたから、問題はないとしても、満州が 70 地区に含まれていたことは、RI が満州を日本と一体のものと認識していたものと考えられます。

1931 年の満州事変を契機として日米間の雲行きは怪しくなり、1933 年の国際連盟脱退によって、それは決定的なものになります。その経過の中で、ロータリーの本部がアメリカにあるという理由で、陰に陽に、軍部や官憲からの圧力を受けることになります。ロータリーはアメリカのスパイであるとか、フリーメーソンであるといった批判に対して、ロータリーのモットー Service above self は滅私奉公であると反論したという記録が残っています。

そういった批判を避けるために、RIBI のように RI の中央集権の組織から離れて、国家単位で管理してはという意見がロータリアンの間で起こったため、1935 年に京都で開催された地区大会で RI 会長代理として出席したサットン元 RI 会長にその旨を申し入れましたが、色よい返事は貰えませんでした。

1935 年京都で開催された地区大会では、新作の日本語のロータリー・ソングとして、「奉仕の理想」と「われらの生業」が発表されました。

1936年に神戸で行われた地区大会では、ロータリーの日本化に関連する提案が噴出して、「紀元 2600 年に日本で国際大会を開催する」「地区の特殊事情に応じ、ロータリー精神の普及徹底を期するため、RI の機構を地区単位に改めるよう希望する」という決議が採択されました。

「アメリカのロータリーにおける東洋人差別是正」という案件が提案されましたが、たまたま神戸の直木太一郎が提出した「大連クラブのロータリー宣言を 70 地区のロータリー宣言として採択する」という動議を巡って大混乱になりました。米山梅吉は、国際ロータリーにおいて決定した [ロータリーの綱領] は一言一句の変更は許されないと述べたのに対して、京都クラブの会長田辺隆二は、それは英文のことであって、その精神を日本語で表すものがあるとしてもよいと反論し、村田省蔵パスト・ガバナーは、この大連宣言を推奨したのは自分であり、これは立派なものであるから、これを英訳して、[ロータリーの綱領] を改正するように、RI 本部に提案したらよいと述べました。

結局、大阪の里見純吉の提案によって、この宣言は、ロータリーの綱領の変更ではなく、内容を補足するものとして、大会宣言することで収拾されました。

この[大連宣言]は、大連クラブの古沢丈作が、1928 年に発表した、[ロータリーの綱領] と [ロータリー倫理訓] の真髓を、格調高い日本語で適格に表現したドキュメントとして、高い評価を受けています。

- 須らく事業の人たるに先立ちて道義の人たるべし。蓋し事業の経営に全力を傾倒するは因って世を益せんがためなり。ゆえに吾人は道義を無視していわゆる事業の成功を獲んとする者に与せず。
- 成否を日々に先立ち退いて義務を尽さむことを思い進んで奉仕を完うせんことを念う。自らを利するに先立ちて他を益せむことを願う。最も能く奉仕する者、最も多く満たさるべきことを吾人は疑わず。
- あるいは特殊な関係をもって機会を壟断しあるいは世人の潔しとせざるに乘じ巨利を博す、これ吾人の最も忌むところなり、吾人の精神に反してその信条を紊るは利のため義を失うよりはなはだしきは無し。
- 義をもって集まり、信をもって結び、切磋し琢磨し、相扶け相益す。これ吾人団結の本旨なり。しかれども党をもって厚くすることなく他をもって拒むことなく私をもって党する者にあらざるなり。
- 徒爾なる角逐と闘争とは世に行なわねばならず、協力をもって博愛平等の理想を実現せざるべからず、しかり吾が同志はこの大義を世界に敷かむがために活躍す吾がロータリーの崇高なる使命ここに在り、その存在の意義またここに存す。

この大連宣言を起草した古沢丈作は、終戦後東京クラブに入って 1952 年に会長を務めた際、米山梅吉の遺徳を忍んで米山奨学金制度を作りました。

アメリカに本部があるという理由から、ロータリー運動に対する官憲の介入は厳しさを

増して、例会が監視下におかれると共に、米山梅吉や地区幹事の芝染太郎は再三特高の取り調べを受けたと言われています。この嫌疑を晴らすために、RIの中央集権化から離れて、日本独自の地方的自治分権を図ろうという運動が進められました。

1938年比叡山で開かれた地区協議会において、東京から第70区がRIの中央集権組織から離れて自治権を持つという提案を来るべき国際大会に提出する準備を整えるために、研究委員会を組織する、という提案がだされました。

この提案には米山梅吉も賛成して、自ら提案主旨の説明をし、異議なく採択されました。これに基づいて、クリーブランド国際大会に提出するために、宮脇富パスト・ガバナーを中心とする研究委員会によって作られたのが、俗に「宮脇案」と呼ばれる、日満ロータリー連合会の原案です。

70地区の幹事、芝染太郎が特派代表として、同年開催されたクリーブランド大会に出席して、RIとの交渉に当たることになりました。

出発に先立って、米山梅吉はRI会長に宛てた次のような親書を、芝に託しています。

まず前会長ウイル・メーニアの「歴史と風俗と習慣とは各国悉く異なれり。故にこれを統一的に取り扱わんとするのは誤りにして、思想上の傾向に適合せしむべく各々自由ならしむべし。」の言を引用し、「東西欧亜では甚だ風俗習慣が違っているが、ロータリーの目的は明白であるから、これを忠実に実現出来れば、他の細項は各区の自治に任せばよいので、ロータリーの開祖ポール・ハリスさえ、ロータリーの到達すべき運命に適應せんとせば、ロータリーは常に徐々に進化し、又或る場合には急進的改革をも必要とすると言っている。大会参列の諸君はこのRI機構の進化変遷に必要な注目し、第70区が提案する機構改正に虚心坦懐検討されんことを希望する。余は急進的改革を希望するのではない。ただその進化を促進し、将来の宿望に適應させる必要を認めるものである。隣邦第79区ガバナー、フォン・セク博士は最近死去したが、その数日前余の所論に共鳴し、一緒に支那のロータリー拡張と永久性のために共同してつくしたいと述べた。」と結んでいます。

この第70地区からの「RIJM設立」についての提案は議案39-9として6月19日の立法委員会に提出されました。芝は渡米後、この提案の取り扱いについて、チェスレー・ペリー事務総長やRI理事と何回も非公式会談を重ねましたが、賛否両論がでて結論は得られませんでした。特にアルゼンチン、ペルー、ブラジルはこの提案を機会に、南米における中間管理組織を作ることを考えていたため、RIはこの提案は日満だけの問題ではなく、RIの根本を揺るがす問題だと考えました。もしもこの提案が審議されれば、大会が紛糾することは必至であるとみたRI理事会は、この提案を責任を持って理事会が対処することを確約して、芝に撤回を要請したので、芝はそれを受け入れました。

日本からの提案を受けて、RI理事会が認めた規約は次の通りです。

- 3地区の統括機関として日満連合会を設け、会長1名、ガバナー3名、パスト・ガバナー3名、前会長1名、合計8名の委員をおく。
- 会長はRIの承認を要せず、委員の任期は1年とする。

- 会長の選挙は3地区連合大会でおこなう。
- ガバナーの選挙は地区大会で行い、RIに通告し、従来と同じく国際大会で選任する。
- ガバナーの任務は従来と同じとする。
- RIへ送金する4ドル50セントは、半額を連合会に残して、その費用に充てる。
- 1939年7月から実施する。

以上のような経緯をたどって、日満地区46クラブが自治地域制度の適用を受けることになり、1939年7月から、日本の第70区が第70区、第71区、第72区に分割されました。

第70地区・・・名古屋以東の20クラブ

第71地区・・・西日本、台湾の19クラブ

第72地区・・・朝鮮、満州の8クラブ

第1回に日満ロータリー連合大会は、1940年5月、横浜で開催され、会長には米山梅吉が選ばれましたが、これが戦前の日本ロータリーの最後の大会となりました。この大会では、ロータリー綱領の邦訳を改めること、国名をニッポンに統一すること。皇軍への感謝、傷病兵慰問などが決議されました。

ここで、特派代表として、クリーブランド大会に出席して、RIとの交渉に当たった芝染太郎について触れてみたいと思います。

芝は1870年愛媛県宇和島近郊で生まれ、1894年に単身ハワイに移住しました。ジャーナリストを志してハワイ新報に入社し、1905年には同社を買収して社主になりました。1916年帰国しジャパントイムスに入り、1921年には買収して同社の社主となりました。

関東大震災直後に東京ロータリークラブに入会し、米山梅吉との親交も厚く、1937年に第70地区の幹事に就任し、クリーブランド大会に特派代表として出席しました。

彼の著作「\$の国アメリカ」には、日満ロータリー連合会の交渉にあたって、友人への土産である日本刀を携えてRI本部を訪れて剣舞を披露して、もしもこの提案が通らなければ切腹も辞さないと語ったと記載されています。その気迫が功を奏してか、RIが日満ロータリー連合会の存在と自治地域の適用をしつづき黙認したというのが真相のようです。

芝は1938年発足した日満ロータリー連合会の幹事を務め、RI脱退とともに茨城県鹿島に移り住み、地元で「晴耕会」というロータリークラブと同じような組織を作って悠々自適の生活を送り、1949年に79歳で逝去しました。

連合会設立の努力にもかかわらず、官憲の圧力は厳しく、8月8日に静岡RCが、引き続いて、8月12日に大阪RC、8月19日には岡山RCが解散します。

その後、8月21日には京都RC、その後も広島、高知、金沢と解散が続いたため、9月4日、日満ロータリー連合会は総会を開催して、RIから脱退して、独自の日満連合会を組織することを決定し、その創立委員25名を指名しました。

しかし時は既に遅く、東京RCが解散を決定したのは、9月11日のことであり、米山梅吉は、重い足を引きずるようにしながら壇上に立って、最後の挨拶をしました。

拝啓 時下各位益御清祥慶賀此事に奉存候

陳者各位と共に終始其發展に努力致し來り候ロータリー運動も一旦廃止の己むを得ざる事態に立到り候こと誠に今昔の感に堪へざる次第に候

多年間断なき無数の會合に於て舊ロータリー俱樂部が重きを會員各自の職能に措き往來親睦に手を握りて互に相勵まし陰に陽に奉仕の一念を以て事に従へる為過去二十年ロータリーが清新にして而かも活潑なる社交機關として世の信認を博せること偶然にあらずと存候

其發展に於ても日滿四十八市を網羅し軀ては百俱樂部の陣容を整へ恰も東亜勃興の新機運に參して大いに國際正義の達成に資するを得んことを庶幾し昨年既にクリーブランドに於けるロータリー世界大會に向ひ吾が主張を聲明しロータリーの組織を改め國家単位の機構に礎石を置かんとし益多望なる前途を豫期せる際不幸なる影響を受け意外の蹉跌を見るに至れること此上なき恨事と申ぐべく御同様残念に堪へざることに候

何れにもせよ國際ロータリー離脱のことは豫て其組織關係に更改を企圖致居候ことにも有之旁日滿ロータリー俱樂部解散の決行は乍遺憾誠に己むを得ざりし次第に候

抑も奉仕の理想に基き各自の職能により國家社會に貢獻し公益の増進にカメ外は以て國際の諒解を正しくせんが為めに實業及び専門職業人たるロータリアンが努力多年に亘り會員間に醸成したる特殊の熱情は一度ロータリアンたりしものの永く保持して用を為さんとする處にして是即ちロータリーの後身として新社交俱樂部を創設し従來の意義ある交友關係を繼續致し度き希望に燃ゆる所以に候

先般臨機に委員を擧げ協議の結果假定致候規約案は曩に御手許へ差上置候通りに候右御準用の上今や適宜御發會被成候て然るべき時節と相成候やう存候

大阪に於ては既に規約を設け金曜會を創立各地にも夫々類似の御催あり且又一二直ちに俱樂部の組織に出てんとする處も有之ことに承知致候

斯くて所在に新組織成立致候上聽て一定の名稱及び相互の連繫等に付き工夫を要する時機不遠到來可致存候へ共従來の日滿ロータリー聯合會は既に全く解體、月刊機關誌も廃止のことに致し目下残務の整理に従事罷在候自然の成行は御承知被下候通りに候

凡そ忠良なる日本國民として臣道實踐の方途は多々可有之支那事變以來舊ロータリーの對外活動に於ても之を見たることに候へ共今や純日本主義に創設さるべき吾等の新組織は更に大に其主義精神を發揚して國家社會に貢獻し殊に現下の非常時局に即応する為め各自の職場に於て大政の翼賛に寄興致すべきこと必然と存上候以上貴意を得るに當りロータリー過去の歴史を回顧し感慨無量文辭悉きず偏に各位の御自重を所り候

昭和十五年十一月十六日

敬具

米 山 梅 吉

9月11日、日滿連合会は最初の會合を開いて、既に大阪で作られていた定款を基に協議して新定款を起草し、9月25日の會合でこれを採択し、この会の名称を「七曜俱樂部連合会」

としましたが、この会がどのように運営されたかの資料は残っていません。

各クラブの RI 脱退状況および再組織の状況は次の通りです。

クラブ名	脱退年月日	再組織名
静岡	15・8・8	木曜会
大阪	15・8・12	金曜会
岡山	1940・8・19	水曜会
京都	1940・8・21	水曜会
広島	1940・8	火曜会
高知	1940・8	火曜会
金沢	1940・9・1	水曜会
今治	1940・9・5	木曜会
神戸	1940・9・15	木曜会
盛岡	1940・9	木曜会
名古屋	1940・9	同心会 → 火曜会
函館	1940・9・4	函館職能協議会
帯広	1940・9・5	木曜会
小樽	1940・9・7	火曜会
新潟	1940・9・7	火曜会
東京	1940・9・11	水曜会
旭川	1940・9・23	金曜会
四日市	1940・9	木曜会
郡山	1940・9	金曜会
仙台	1940・9	火曜会
横浜	1940・9	同人会
札幌	1940・11・20	札幌職能会
西宮	1940・12・16	火曜会
福岡	1941・7・1	清和会
釧路	1941・10・10	釧路職域懇談会

東京水曜会は1940年11月15日に190名が入会して、12月4日に帝国ホテルで創立総会を開き、大阪金曜会は99名が入会して11月15日に創立総会を開きました。その他の各クラブもロータリー・クラブの名前こそ外したものの、各曜会と名を変えて、従来のロータリー・クラブ時代と同じように、毎週一回の例会を開いていました。

戦争が始まって、物資の欠乏と共に、弁当持参や、誕生祝いのケーキの代わりに水飴を贈った(東京クラブ)というエピソードが残っています。その後例会場の軍接收、空襲によ

る破壊などによって、集まる場所を転々と変えたり、例会が休会となることもたびたびありました。物資統制のため、週報の発行が困難となり、年に数回しか発行されなかったという記録も残っていますし、大阪金曜会では、月初めの例会では宣戦の詔勅が朗読され、卓話も統制経済、戦債、兵器、食料問題、大政翼賛会の話題が多かったそうです。

ロータリーの組織が壊滅したにもかかわらず、その活動が継続されたことは驚異に値する事実です。戦前の日本のロータリアンの心にロータリーの理念が理解されていたが故、組織がなくなっても、運動自体は何ら変ることなく継続されていたのでしょう。ただしこのような状況下では、ポール・ハリスやシェルドンの奉仕理念を語ることは不可能であり、儒教や報徳講などの東洋的思考からロータリーを語らざるを得ませんでした。その名残が現在にも引き継がれているように思われます。

終戦直後の1946年、日本ロータリーの創始者である米山梅吉と福島喜三次が相次いでこの世を去り、翌1947年1月にはポール・ハリスも78才の天寿を全うします。

1948年9月1日、インドに駐在していたRI中央アジアの副事務総長ジョージ・ミーンズが、日本を訪れ、東京水曜会の例会に出席して、小松復帰協議会会長から、日本の実情を聞くと共に、大阪金曜会やその他の七曜会を訪れて、日本のロータリークラブが名前こそ変えながらも、脱退以前と変わることなく例会を続けている状況をRIに報告します。

1949年3月9日に再び日本を訪れたミーンズは、RI理事会が同年6月の国際大会までに日本のロータリーを復帰させることを決定したことを知らせます。この吉報を受けた協議会は、このことを各クラブに知らせると共に、その準備にかかり、東京水曜会は3月16日に解散して、3月23日にチャーター・メンバー157名で創立総会を開催し、3月29日にはRIから以前の登録番号855のままで認証を受けました。これに続いて京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌の7クラブが順次RIに復帰し、第60地区として戦後の日本のロータリー運動が再開されることとなります。

東京クラブのチャーター・ナイトは同年4月27日に開催され、マッカーサー元帥(後に東京クラブ名誉会員)や吉田茂首相からの祝辞が披露されました。

RI復帰状況は次の通りです。

クラブ名	会員数	復帰承認	クラブ名	会員数	復帰承認
東京	189	49. 3. 29	京都	57	49. 3. 29
大阪	68	49. 4. 13	神戸	46	49. 4. 13
名古屋	47	49. 4. 13	福岡	33	49. 4. 22
札幌	45	49. 5. 2	横浜	38	49. 7. 27
西宮	20	49. 8. 19	高知	24	49. 8. 19
今治	20	49. 8. 19	徳島	30	49. 8. 23
広島	27	49. 8. 25	岡山	24	49. 8. 25
小樽	25	49. 9. 16	函館	25	49. 9. 16

熊本	27	49. 10. 24	新潟	24	49. 11. 8
四日市	20	49. 11. 21	岐阜	20	49. 12. 8
門司	29	50. 1. 12	仙台	33	50. 1. 30
浜松	20	50. 2. 6	高松	40	50. 3. 9
金沢	32	50. 3. 20	旭川	36	50. 3. 29
静岡	28	50. 4. 20	長崎	30	50. 6. 9
盛岡	21	50. 7. 25	釧路	25	50. 10. 2
郡山	28	50. 10. 30	松山	30	50. 12. 3
室蘭	31	50. 12. 15	帯広	19	50. 12. 28
和歌山	35	50. 12. 28			

公職追放者を会員として認めるか否かが、大きな問題点でしたが、経済界における公職追放者を会員として認めないならば、クラブとしての体をなさないと言う日本側の主張が受け入れられたため、日本のロータリーは戦前からの指導者を失うことなく再出発することができたのです。ただし、日満ロータリー連合会の設立に大きな活躍をした芝染太郎の名前は、東京クラブの会員名簿にはありません。

R I 脱退中もロータリー例会そのままの非公式例会を続けていたことが大きな評価を受け、クラブ歴、個人歴共に、この期間を含めることが認められることになりました。